

はじめに

20年以上中学生専門の集団塾で英語を教えてきて、今回なぜこの問題集を出版しようと思ったのか、そのきっかけや経緯について、ここでお話させていただきます。

私が働く塾は入塾テストを実施しておらず、あらゆる成績の生徒が入塾してくるので、生徒たちがつまづく場所や間違える場所は、実に様々です。しかし、8割くらいは似たような間違え方をするものです。その原因の半分は生徒の学力や性格によるものですが、半分は講師の説明不足によるものだと私は考えています。その証拠に、次の年にその点に注意しながら説明すると、多くの生徒はそのまちがいをしなくなるがよくあります。**生徒が間違える度に、その原因は何か、どう説明したらそのまちがいがなくなるだろうかと、そういう積み重ねを20年以上続けてきました。20年以上で教えてきた生徒の数だけ、私の頭に、「生徒の間違える場所」が蓄積されてきたわけ**です。そんなふうで現在の私の授業ができてきました。だから、生徒たちに「わかりやすい」と言ってもらう度に、「みんなのおかげでこの授業ができています」と私は思うのです。

そんな中、生徒がいつでも自分のタイミングで復習ができるようにするにはどうしたらいいだろうと思うようになりました。生徒によって復習したいタイミングや単元は異なるので、個人的に復習をするには、問題集や参考書を使うこととなります。解答と解説がそれぞれ別ページにある一般的な問題集では、多くの中学生は、一通り問題を解いたあとに一気に答え合わせをすることが多く、問題を解き終わった生徒は、解き終わった満足感と疲労感で解説にまで目がいけない場合が多いように感じます。私たちが、**生徒たちに望むのは丸付けではなく、解説の理解**です。なぜその答えにたどり着くのか、それがわかれば形や角度を変えて問われても、次は間違えません。

さらに、**解説を理解して基礎を固めることは、その先にある長文読解やリスニング力のアップにもつながります。「解ける」だけの中途半端な理解では、目先の文法問題には対応できても、その先の長文読解やリスニング力につながることはありません。**

このように、文法力、ひいては長文読解力、リスニング力の向上に、解答・解説の理解は不可欠ですが、そのハードルの高さも重々承知しています。そこで思いついたのが本書の形式です。**「私が授業をしているような解説が各問題のすぐ横に書いていれば、いつでもきちんとした復習ができる」と**。こんなふうで本書はできていきました。つまり、出版のためではなく、元は生徒の復習のための教材としてできていったものでした。

解説を読んで理解して身についた文法力は、テストの度にデキが変わるような不安定なものではなく、「確実で絶対的な力」となってみなさんを目標に導く助けになると確信しています。

私の現在までの講師人生の集大成です。本書がみなさんの目標達成の一助になることを心から祈っています。

問題集を出版するという、今までに経験のない作業のため、原稿作成や出版の際、何人かの優秀な友人や知人の知恵や技術をお借りしました。また、私自身が、講師をしている現在はもちろん、学生時代に使用していた「プロ」の問題集も、本書の作成のヒントや助けになりました。さらに、前述したように、この解説のすべての文章は、生徒とのやり取りから生まれたものです。

私とかかわったすべての生徒、友人、知人、そして何よりも、その場を与えてくれた塾や諸先生方に、改めてお礼申し上げます。

2023年
著者

本書の目的と使い方

● 本書の目的

本書は、中学3年生以降に、中学英文法の**基礎を固め、それを応用することを目的**に作成しています。（それ以前に使うこともできますが、問題または解説に未習の内容を含む場合があります。）**本当の意味での学力の向上にはそれ相応の時間がかかり、そうやって培った力こそが入試で役立つ、というのが私の考えで、この問題集のコンセプトになっています。**その場限りの点数アップを目指したものではないので、目の前の問題に正解しさえすれば、答えの根拠や基礎は分からなくてもいいという人には、不向きな問題集だと思います。

また、同時に受験対策として使うこともできます。**中堅高校※までを目指す人から難関高校※を目指す人**までを対象としています。いずれにせよ、本書の最大の目的は**基礎固め**にあります。基礎の重要性は私が講師をしてきて痛感しているところです。基礎ができていて点数が伸びない生徒は見たことがありませんし、逆に、基礎がない生徒は3年生の2学期以降、確実に点数が伸び悩みます。本書を通して、「解ける」ようになるのではなく、「なぜその答えになるのか」を知って、確実に安定した力を養ってほしいと思います。

※「高校のレベル」についての本書の基準については、次ページ「難易度と偏差値について」で示しています。

● 問題の解き進め方、解説の活用方法

本書は、**解説が主役の問題集**です。必ず解説を理解することを忘れないようにしてください。また、何度も復習ができるよう、**書き込まずに解き進める**ことをおすすめします。

解説を理解しながらいくつかの単元を終えたら、問題編の「まとめの問題」で復習して、理解していない問題があれば、もう一度解説に戻ってください。（本書が難しく感じる場合は、間違えた問題にチェックを入れ各單元ごとに間違えた問題だけをやり直すという方法が、無理がなく良いでしょう。）できたかどうかのポイントは、**その答えになる理由をほかの人に説明できるか**、です。正解するかどうかは、「勉強」の段階では、それほど重要なことではありません。

● 解説動画について

2023年12月現在、解説動画は準備中です。新年度までには完成するよう、順次アップロードしていく予定です。お急ぎの方には申し訳ありませんが、今しばらくお待ちください。

なお、解説動画は、本書の解説と同じ内容を読み進めるものになる予定です。自分で解説を読んで理解できる人にとっては、基本的には必要のないものになると思います。しかし、本書中、單元によって設けている文法の「まとめ」については、解説動画ではもう少し詳しく解説をする予定です。それについては解説動画を参照するのも良いでしょう。

下記のQRコードを読み込むと、解説動画のページにつながります。また、各SNSやブログをまとめたホームページを作成しています。勉強に関係のない個人的なものもありますが、私の人となりを知って勉強のモチベーションを高めるのに役立てていただくと幸いです。

解説動画



ホームページ



● 問題編

「問題・解説編」のあとに3種類の「問題編」を収録しています。

- ・全問題集…一通りの復習にお使いください。
- ・まとめの問題「基礎編」…複数の単元ごとにまとめて復習ができるように問題を再編集しています。「基礎編」では、志望校の偏差値が44※までの人にとっては、受験対策としてお使いいただけ、志望校の偏差値50※までの人にとっては、基礎の確認としてお使いいただけます。
- ・まとめの問題「標準編」…複数の単元ごとにまとめて復習ができるように問題を再編集しています。「標準編」では、志望校の偏差値が59※までの人にとっては、受験対策としてお使いいただけ、志望校の偏差値69※までの人にとっては、基礎の確認としてお使いいただけます。

本書は、志望校の偏差値が70以上の人は対象としていませんが、目指す人の中には、基礎を意識せず「なんとなく」ここまでできてしまった人もいでしょう。そういう人には本書は役立つものと思います。

※「偏差値」についての本書の基準については、下記「難易度と偏差値について」で示しています。

● 巻末付録

巻末に重要熟語と不規則動詞の活用表と検索用の索引を掲載しています。

● 難易度と偏差値について

問題・解説編の各問に、重要度・難易度を3段階で表示しています。

- A すべての人に必要な問題です。この問題の理解なしに点数を上げることは不可能です。
- B 志望校の偏差値が50※までの人で英語が得意科目であるなら、また、それ以上の偏差値の高校を目指す人であるなら、できるようにしておきたい問題です。
- C 志望校の偏差値が54※までの人はできなくてもかまいません。志望校の偏差値が69※までの人で英語が得意科目であるなら、できるようにしておきたい問題です。

偏差値については、資料やそのテストを受ける生徒の成績等により変化します。本書では以下の基準に沿って偏差値を定めています。

偏差値44…公立中学校の平均値

偏差値50…公立中学校の平均値を(5科目で)50点程度上回る実力

偏差値51～59…中堅高校合格に必要な実力

= 公立中学校の平均値を(5科目で)51～100点程度上回る実力

偏差値60～69…難関高校合格に必要な実力

= 公立中学校の平均値を(5科目で)101～160点程度上回る実力

偏差値70以上…最難関高校合格に必要な実力

= 公立中学校の平均値を(5科目で)161点～程度上回る実力

●本書の表示例

(問題ページ)

371 (A) 多くのフランス人が日本のアニメを見ることに興味を持っています。

Many French people are _____ Japanese anime.

→ ●問題番号 (全体の何割の勉強が進んだか確認できるように、単元ごとではなく、通し番号での表記にしています)

372 (C) 私は彼女と遊んだことをよく覚えています。

I _____ with her well.

→ ●問題の重要度と難易度 (詳細は前述の「●難易度と偏差値について」を参照してください)

(解説ページ)

371 interested in watching → ●解答

・「～に興味を持っている、興味がある」は「be interested in+～ing」で作るAランクの「前置詞+～ing」の重要表現。

→ ●解説 (問題を解くために必要な解説と、つまづきポイントの解説を書いています)

関連問題

be

interested

in→

37,371,380
,403,435

372 remember playing

・「～したことを覚えている」は「remember+～ing」で作る。

・remember(覚えている)、forget(忘れる)、tryは、不定詞・名詞的用法も動名詞も続けられるが、どちらを続けるかによって意味が変わってしまう厄介な一般動詞である(Cランク)。

→ ●使う知識の重要度と難易度 (詳細は前述の「●難易度と偏差値について」を参照してください)

●関連問題 (文法、熟語に関連した問題を示しています)



(まとめ / レベルアップ)

まとめ22 「～すること」を表す不定詞・名詞的用法と動名詞

「～すること」を表す場合、

① 主語になる場合、またはbe動詞の後に続く場合 → 不定詞・名詞的用法○ / 動名詞○

② 一般動詞の後に続く場合

(1) 不定詞・名詞的用法○ / 動名詞○ → start, begin, like, loveの後に続く場合

——▶●**まとめのノート** (ここまでの内容を整理するためのノートと、その関連問題を示しています)

●**関連問題** (まとめ / レベルアップに関連する問題を示しています) ←

関連問題は

すぐ下に

レベルアップ7 stop to+動詞の原形

stop to+動詞の原形という形がある(Cランク)。

「～すること」をstopの後に続けるときは、「まとめ22」に書いたように動名詞しか使えないが、

「～するために」という、不定詞・副詞的用法(目的)の「to+動詞の原形」を続けることができる。

この場合、stopの意味が「立ち止まる」になり、stop to+動詞の原形で、「～するために立ち止まる」とな

——▶●**レベルアップのノート** (難易度がBランクからCランクの文法事項の説明をしています。問題ではほとんど出題していないため、必要な人はここでしっかり理解しておいてください)

stop+~ing

→361,367

目次

[問題・解説編]

単元 (問題番号) ……ページ数

be動詞・一般動詞 (1～51) ……p.12～33

- まとめ1 be動詞の決定と用法 p.13
- まとめ2 be動詞と一般動詞、3単現 p.15
- まとめ3 過去形の作り方 p.17
- まとめ4 疑問文と否定文 p.19
- レベルアップ1 whoseの2つの用法 p.23
- レベルアップ2 stay withとstay atのまぎらわしい場合 p.29

疑問詞・itの特別用法 (52～77) ……p.34～43

- まとめ5 疑問詞 p.37, 39

進行形・未来形・助動詞 (78～126) ……p.44～61

- まとめ6 進行形の作り方とing形の作り方 p.45
- まとめ7 助動詞 p.55, 57

名詞・冠詞・代名詞・形容詞・副詞・感嘆文 (127～196) ……p.62～89

- まとめ8 人称代名詞 p.63, 65
- まとめ9 数えられる名詞と数えられない名詞 p.67, 69
- まとめ10 名詞の複数形 p.69
- まとめ11 some, other, anotherなど p.73
- まとめ12 冠詞 p.77, 79

接続詞 (197～227) ……p.90～105

- まとめ13 接続詞の分類 p.91, 93
- まとめ14 too～to…とso～that… p.101
- レベルアップ3 and, or, butを使った熟語 p.103

命令文・文型 (1) (228～250) ……p.106～115

- レベルアップ4 askの場合 p.107

比較 (251～283) ……p.116～131

- まとめ15 比較を表す表現と変化のしかた p.117
- まとめ16 比較のいろいろな表現 p.123
- まとめ17 疑問詞+比較 p.125, 127

単元（問題番号）……………ページ数

不定詞（1）（284～317）……………p.132～149

まとめ18 一般動詞の後に続く不定詞・名詞的用法 p.133

まとめ19 不定詞の3用法 p.139

レベルアップ5 前置詞が省略される不定詞・形容詞的用法 p.141

まとめ20 不定詞の用法の判別 p.143

前置詞（318～350）……………p.150～159

まとめ21 「間」を表す語 p.151

レベルアップ6 「特定の時」を表す前置詞 p.155

動名詞（351～381）……………p.160～173

まとめ22 「～すること」を表す不定詞・名詞的用法と動名詞 p.165

レベルアップ7 stop to+動詞の原形 p.165

レベルアップ8 不定詞・名詞的用法が続くか動名詞が続くかで意味が変わる動詞 p.169

まとめ23 前置詞+～ing p.169, 171

受動態（382～435）……………p.174～191

まとめ24 byを使わない受動態 p.183

現在完了（436～507）……………p.192～217

まとめ25 現在完了の3用法 p.197, 199

レベルアップ9 「～が○年前に死んだ」「～が死んで○年になる」のいくつかの表現 p.213

不定詞（2）（508～562）……………p.218～237

まとめ26 いろいろな不定詞 p.223, 225

文型（2）・原形不定詞（563～591）……………p.238～247

いろいろな疑問文（592～636）……………p.248～261

分詞の形容詞的用法（637～658）……………p.262～271

まとめ27(1) 現在分詞の形容詞的用法 p.263

まとめ27(2) 過去分詞の形容詞的用法 p.263

まとめ27(1)(2) 分詞の形容詞的用法の語順 p.265

単元（問題番号）……………ページ数

関係代名詞（659～708）……………p.272～299

まとめ28 関係代名詞全体 p.275

まとめ29 分詞の形容詞的用法と関係代名詞またはその他の後置修飾 p.289, 291

仮定法（709～739）……………p.300～311

[問題編]

全問題集……………p.316～360

まとめの問題 一基礎編一……………p.364～389

be動詞・一般動詞 / 疑問詞・itの特別用法 / 進行形・未来形・助動詞……………p.364～367

名詞・冠詞・代名詞・形容詞・副詞・感嘆文……………p.368～369

接続詞 / 命令文・文型(1) / 比較……………p.370～373

不定詞(1) / 前置詞 / 動名詞……………p.374～377

受動態 / 現在完了……………p.378～381

不定詞(2) / 文型(2)・原形不定詞 / いろいろな疑問文……………p.382～385

分詞の形容詞的用法 / 関係代名詞……………p.386～388

仮定法……………p.389

まとめの問題 一標準編一……………p.392～421

be動詞・一般動詞 / 疑問詞・itの特別用法 / 進行形・未来形・助動詞……………p.392～395

名詞・冠詞・代名詞・形容詞・副詞・感嘆文……………p.396～398

接続詞 / 命令文・文型(1) / 比較……………p.400～403

不定詞(1) / 前置詞 / 動名詞……………p.404～407

受動態 / 現在完了……………p.408～411

不定詞(2) / 文型(2)・原形不定詞 / いろいろな疑問文……………p.412～415

分詞の形容詞的用法 / 関係代名詞……………p.416～418

仮定法……………p.420～421

まとめの問題 一解答編一……………p.424～447

基礎編……………p.424～434

標準編……………p.435～447

[巻末付録]

索引……………p.448～453

重要熟語……………p.454～456

不規則動詞の活用表……………p.458～459